

【団体名】 梨の里小学校

【事業名】 「発見！ 梨の里の生き物ー学区の自然環境について考えようー」

【事業の目的】 吹戸川や水田、明治用水など、学区を流れる水路や河川、水田等に生息する生き物や水質などの自然環境を調査する体験的な活動から、身近な地域の環境の実態や課題を知り、その保全のために自分たちができることを考え実践しようとする態度を育てる。

#### 【実施内容】

4年生の総合的な学習の一環として、地域の自然環境をテーマにした学習活動に取り組んだ。

##### ○1学期の実践

水田の生き物植物調査ー学区のどんなところにどんな生き物がいるだろうかー水の駅に出かけよう

田んぼの生き物・植物調査をしよう

吹戸川の生き物・植物調査をしよう

見つけた生き物について調べよう

ゲストティチャーとして、植物や水生生物の研究をしている社会人講師を招き、いっしょにフィールドワークをおこなったり、教室で講話を聞いたりした。調査に出かけて観察した生き物から、気になったことを話し合おう。

みんなでカメを捕まえよう！カメについて調べよう！

ミシシippアカミミガメから外来種と地域の自然に与える影響を考える。



吹戸川調査の様子



吹戸川 ビッグマップ

吹戸川ってどんな川？ー吹戸川調査隊ー

身近な河川について、水質や水生生物、ごみなどのテーマ別のグループに分かれて、調査活動を行う。調べたことを吹戸川ビッグマップにまとめる。

吹戸川はきれいだろうか、きたないだろうかについて、調査結果をまとめた、ビッグマップをもとに話し合いを行う。

学習した内容を発信する場として、空き教室を使って採集してきた水生生物を展示した「梨っ子水族館」を作成・運営した。

中間発表 8月明治用水水のかんきょう学習館

第15回水土里ネットせせらぎかんきょうサミットで、1学期の総合学習の成果を発表した。

### ○2学期の実践

- ・発光生物の話（名古屋大学大学院・大場裕一先生）

校内でホタルミミズの調査を行った。

- ・明治用水頭首工の見学
- ・豊田市立西広瀬小学校との交流

1学期から行ってきた学習活動から、自分たちが吹戸川や地域の環境のためにできることを考える。グループでの話し合いを繰り返しながら、意見をまとめた。その答えを出すための話し合いを行っている様子を、ESD 開会行事で愛知を訪れていた皇太子ご夫妻にご覧いただいた。



大場裕一先生



梨里小産ホタルミミズ

### ○3学期の実践総合学習発表会

「梨っ子かんきょうサミット」

2月10日、作野公民館で地域や保護者の方々にも入っていただき、これまでの学習成果を劇やPowerPointを使って発表した。最後に外部講師の方々も交えて、生き物が棲みやすい学区にすることをテーマに、パネルディスカッションを行い意見交換をした。

2月24日、4年生児童が全校に呼びかけて、学区のごみ拾いボランティア「梨

「梨っ子クリーン大作戦」を実施した。全校の児童がこのごみ拾い活動に参加して、たくさんのごみが学区から集められた。



梨っ子かんきょうサミットのようす      皇太子ご夫妻の行啓

### 【成果・課題】

成果として

- ・吹戸川や学区の水田、「水の駅」などの調査をはじめ、たくさん体験活動を通して、地域環境の実態を知ることができた。
- ・吹戸川のアシが水質浄化に役立っていることや、梨の里小学校にホタルミミズが棲んでいることなど、専門家の先生達をお招きすることで、地域の生き物や自然についてより詳しく教えていただき、理解することができた。
- ・豊田市立西広瀬小学校との交流活動を行うことで、西広瀬小学校の4年生の取り組みを知る一方で、自分たちの住む地域の特徴を理解することができた。
- ・学習の成果を、「梨っ子かんきょう」サミットをはじめ、学習のいろいろな段階で発表をすることで、情報発信を行うことができた。
- ・学んだことから、自分たちが地域環境にできることを考え、「梨っ子クリーン大作戦」として、全校や地域の人たちによびかけ、学区のゴミ拾いボランティア活動を行うことができた。

課題として

- ・1年を通して得られたたくさん学びを、どのような形でまとめて発信していくか、限られた授業時間の中での扱い方を考えていく必要がある。
- ・本年度は教師の側で、多くの学習プログラムを開発しながら進めてきたが、児童の学習課題を明確にして、児童に学習活動の見通しをもたせることも検討したい。
- ・学習単元全体の中で、それぞれの体験活動を、その目的や一途家を整理していくことも大切と考える。

・学びに基づく最終的な行動が「ゴミひろい」活動だけでなく、他にもいろいろな選択肢が考えられる。子どもの学習課題との関係を考慮し、その学びが生かせる「行動」を選べるようにしたい。

・西広瀬小学校とは交流活動を行ったが一回きりであり、できれば、ビデオレターなどいろいろな手段での交流を複数回もてるようにしたい。

さらに、環境学習をテーマに取り組んでいる他の小・中学校との交流活動を組むことができれば、さらに学びを深めることができると考えられる。